

ディレクトフォースの方々とのグループセッションは、とても刺激的でした。プロフィール見てみるとすごい経歴の方ばかりだったので、私には理解できないような話ばかりするのだろう、と思ったのですが、実際にお話ししてみるとイメージとは全然違いました。お話の内容はとても分かりやすく、理解しやすかったので、有意義な話し合いが出来たと思います。また、人柄も気さくで、質問がしやすく、いろんな事が聞けてよかったです。特に印象に残ったのは、長崎さんとのグループセッションです。私は、どこの大学に受験しようかととても迷っていて、その選ぶ基準に悩んでいました。そこで、長崎さんになぜ、東北大学に受験したのかを聞いてみたところ、塀がないから、とのことでした。それは私にとってとても衝撃でした。もっと素直に決めていいんだ、理由は単純でいいんだ、と気づけた瞬間でした。また、やりたいこともやり、やりたくないこともやることで、たくさんの経験値が得られる、という言葉も今の私に必要なことだと思いました。やりたくないことには度々出会ってしまい、あまりやる気にはなれませんでした。しかし、そのときがチャンスだと、富永さんはおっしゃっていました。やりたくないことを一生懸命やることで、得られる経験値はとても多い。そして、それはいずれ自分の技術になる、と。自分は多くのチャンスを無駄にしていたのだと分かりました。そう思うと同時に、これからは、経験値獲得が倍になるのではないかと嬉しく思いました。以前、二高の先生がおっしゃっていたように、やはり世の中に無駄なことはないのだと、改めて実感しました。また、青木さんは、学生時代は準備期間だ、と今すべきことについてお話しして頂きました。その中で、私がいまだにやれていないことがありました。それは、五感で感じる、という経験をたくさんすることです。スマホや、テレビが一家に1つはあるこの現代社会で、疑似体験が多くなり、その代わりに五感で感じる経験は少なくなっているのは確かだと思います。やはり、その経験を増やすには、意識をしなければいけません。これからは、長期休業などをつかって、海や他の町にいったり、感じるということを意識して、外出を楽しみたいです。但木さんのお話の中で、価値観を大切にしてほしい、という言葉が強く記憶に残っています。あまり価値観について考えたことはなかったのですが、価値観がそれぞれの人の中で違うことについては、たまに考えたりしていました。おもしろい、うれしい、と思うところが違ったりするのは、価値観が違うからだだと思います。でも、私はその違いが好きです。私と価値観が違う人は、行動が予測できないので、毎日が楽しいです(特に二高生は)。今後、価値観が形だけにならないように、保っていきたいです。

企業訪問では、伊東豊雄建築設計事務所を訪問させていただきました。アポイントメントをとった当初、伊東さんには会えないことになっていましたが、喜ばしいことに伊東さん御本人に会えることになり、とても貴重な経験となりました。建築において、たくさんの職種の人とかかわると聞いていたのですが、具体的な職名を教えてください、思いの外多かったので驚きました。また、印象的だったのは、曲がっている木材についてです。家に曲がった木で作った椅子があり、一体どうやってつくっているのだろう、とずっと疑問でした。伊東さんがおっしゃるには、曲がりやすいベニア板をまげ、そこに少しづつ木を重ねて作っているそうです。写真を見せていただいたのですが、ベニア板はこんなに曲がるのか、と不思議でした。また、伊東さんから、本を二冊も頂きました。これだけでもとても嬉しかったのですが、光栄なことにサインまでいただくことができました。この二冊の本は大事にずっととっておきたいと思います。また、兄も大学で建築を学んでいるので、兄にも貸そうと思います。伊東さん、本当にありがとうございました。

懇談会では、二高のOB,OGのみなさんとお話をしました。あまり、二高の卒業生の方々と知り合いではないので、二高の先輩としてのお話は、とても参考になりました。今の勉強の悩みや、これからすべきことがはっきりと分かり、原因不明の不安が無くなった気がしました。私の主な悩みは、勉強時間の

確保でした。部活や、塾に入っていると、どうしても、自分で勉強する時間が少なくなってしまう。そんなとき、先輩方は、すきまの時間を活用していたそうです。私の場合、5分の自由時間があつたら、ちょっとしか時間はないのだから勉強はいいや、とってしまい、だらだらと時間を過ごしていました。しかし、その5分であってもその積み重ねで多くの勉強時間を確保できるのです。また、集中して取り組むことで、短い時間であっても、有意義な勉強ができるのです。だからこれからは、どんな量の時間でも大切に勉強していきたいです。最後は、OB,OGのみなさんからの一言をもらうことになりました。それぞれの言葉がとても、印象的かつ衝撃的でした。内職していいよ、寝る授業は受けない、などの言葉は、今までの私の固定観念に逆っている感じでした。そんな考え方もあるのだな、と驚かされました。やはり、いろんな角度から物事を見るべきだとも思いました。OB,OGのみなさんとお話できてとても、ためになったと思います。

東京大学のオープンキャンパスで、東京大学を訪れました。敷地内に入ると、ここは東京か、と疑うような緑の多さに驚きました。建物もただのビルではなく、扉や柱も細かくデザインされ、素敵な景観でした。また、工学部説明会をうけた会場内も、洋風で、天井についている、ろうそくをのせたシャンデリアのようなものがあり、私の好きな雰囲気でした。説明会のなかで、アトムの話が話されました。私はそれが大変おもしろく感じました。マッハ5で飛ぶアトムの頭上には、ショックウェーブ(衝撃波)が生じ、およそ1500度にもなるそうです。そして、表情の豊かなアトムは現代科学では、作れないそうです。私はアトムの完成がとても楽しみです。私が生きていくなに見たいです。また、私は建築科を目指しているのですが、今回の説明会で、他の工学部の学科についても、触れることができました。やはり、同じ工学部として興味を持ちました。私は作り出すことがすごく好きで、それが、評価されたらとてもうれしいと感じます。ましてや、それが、他人に使われたり、世界に出されたりしたらもっと喜ばしいことだと感じます。それに、建物を構築する、ということはピッタリだと思います。しかし、そのような気持ちになれるのは、建築だけではないと分かりました。例えば、飛行機を作ったりするのもそうです。他にももっとたくさんあります。やはり、工学というのは興味深いなと思いました。そして、予想通りだったのですが、工学部は東大で一番女子が少ない学部だそうです。なぜ、こんなに素敵な学部なのに少ないのかは分かりません。これは、東大だけではないと思います。これから、工学部女子が増えることを願っています。

今回の東大見学会・企業訪問はとてもよい経験になったと思います。これから二高に入学する方も絶対に行った方がいいと思いました。かなり、自分の考えが変わると思います。また、今回のみなさんと出会いが、勉強に対する姿勢や、大学選びなどに、大きく影響を与えました。とても感謝しています。本当に参加してよかったです。これからも、この2日間で得たものを忘れずに、生かしていきたいと思えます。